

# JPCOARの 教材修正等取組み紹介

2022.6.1

JPCOAR研究データ作業部会

千葉大学 小林裕太

# 教材修正の取り組み

- 対象教材
- 教材修正作業の手順
- フィードバックの内容および修正作業の結果(一例)

# 対象教材

- [「研究データ管理サービスの設計と実践」第2版](#)
- [「研究者のための研究データマネジメント」](#)



研究データ管理サービスの設計  
と実践

ReadMore >



研究者のための研究データマネ  
ジメント

ReadMore >

# 作業の手順

1. 教材作成プロジェクトのメンバーおよびメンバーの所属機関内の担当者等が受講
2. フィードバックを内容で分類
3. 修正作業
  - 対象:コースおよび章が明確なもの、教材チーム担当のもの

# フィードバックの分類

- 修正内容について

- **対応可** 技術的に対応可能・検討の必要なし
- **要確認** 実際の教材等を確認したうえで修正
- **要検討** 修正するかどうかも含めて検討が必要

- 担当

- **GLMS** 学認LMSプラットフォームに関わるもの
- **教材チーム** 教材の内容に関わるもの

[付録1\\_学認RDM搭載教材へのフィードバックおよび検討結果.xlsx](#)

# フィードバックの一例

- Gakunin LMSログイン後、どの教材を受ければよいのかわかりづらい
- 音声を聴くタイプのコンテンツだと、カウンターなどに出る機会の多い職員は受講しづらい
- 理解度テストの粒度が章ごとに異なっている
- 専門用語が多い
- テキスト読み上げのためメリハリがなく、どこが重要なポイントかわかりづらい

# 修正作業のまとめ

- 最新情報へのアップデート
  - 外部リンクの更新など
- 理解度テスト
  - 講義動画とテストの整合性など
- あえて修正を行わなかったもの

## 第4章 研究中の支援

第4章では、研究中の支援として、研究データの種類とセキュリティポリシーの関係、データの保存と機関の役割、データの発見支援、データ分析トレーニングコースの実施、論文発表に向けた研究データの取扱いに関する支援、データ管理計画の更新支援、について学んでいきます。



第4章 研究中の支援（学習時間：約64分）



第4章 理解度テスト



## 第4章 研究中の支援

### 1 第4章の概要

4分 5秒

### 2 研究データの種類とセキュリティポリシーの関係

#### 2.1 情報セキュリティと情報の格付け

1分 7秒

#### 2.2 機密性・完全性・可用性とは

1分 10秒

#### 2.3 機密性についての格付けの定義例

1分 21秒

#### 2.4 完全性・可用性についての格付けの…

1分

#### 2.5 要保護情報とは

54秒

#### 2.6 取扱制限の定義例

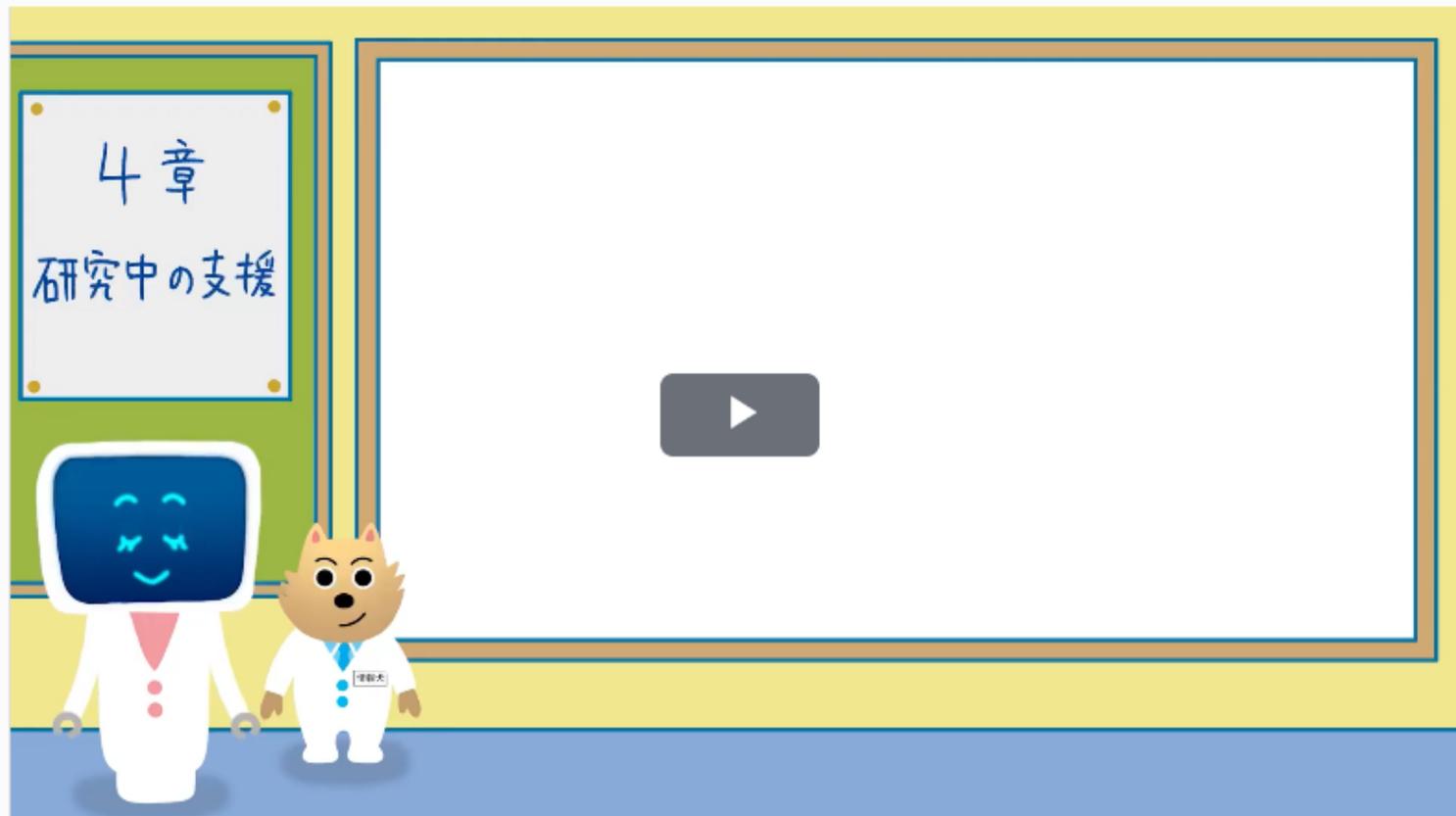
1分 33秒

#### 2.7 セキュリティポリシーと研究データ…

1分 56秒

#### 2.8 研究データの具体的な格付け例

49秒



て非公開のデータを探す方法、関連する研究プロジェクトや研究者を探しデータを見つける方法などを具体的に学びます。

「データ分析トレーニングコースの実施」では、研究成果に大きく関わる「データ分析・可視化」の支援方法を学びます。データ分析トレーニングコースを実施する際は、機関としてその重要性を認識し、組織内で関連部署が連携し、また研究データ管理の流れの中にトレーニングを位置づけ、さらに適切な情報基盤の利用も促しながら行うことが重要です。

さらに「論文発表に向けた研究データの取扱いに関する支援」では、論文発表の前に行う関係者と

## 第4章 研究中の支援

2.8 研究データの具体的な格付け例  
49秒

### 3 データの保存と機関の役割

3.1 保存の必要性と機関の責任  
2分

3.2 各機関が定めるポリシーの例  
1分 11秒

3.3 研究データ保存時の留意点  
40秒

3.4 研究データ管理に適切な保存場所  
2分 1秒

3.5 オンプレミスとパブリッククラウド  
1分 58秒

3.6 オンラインストレージの情報セキュ...  
2分 25秒

3.7 海外事例：機関としてストレージ提...  
1分 29秒

3.8 バックアップ  
1分 45秒

3.9 セキュリティ  
1分 54秒

**推奨されるファイルフォーマット**

- 独立したフォーマット
- 国際標準化されているフォーマット
- 広く普及しているフォーマット

**フォーマット変換のリスクに注意**

**テキストファイル**

- 環境に依存しない
- 可読性高

**OR**

**バイナリファイル**

- 豊富な情報を含む
- 人間可読性低

一般的に、.pdf（ドットピーディーエフ）や.jpg（ドットJPEG）といったファイルの拡張子は、ファイルフォーマットに関する情報を示しています。

長期的な保存のために推奨されるファイルフォーマットは、特定の商用ソフトウェアのみで読み込み可能なフォーマットではなく、仕様が国際標準となっているフォーマットや、広く普及しているフォーマットです。

推奨フォーマットにあわせるため、特定の商用ソフトウェアで作成されたファイルフォーマットから、より汎用的なフォーマットに変換する場合には注意が必要です。フォーマット変換により、ファイル内部に記録されたメタデータや画像の品質、文音構造などの情報が失われる可能性があります。フォー

# その他の活動

- RDM講座普及の素案
- 教材に対応するメタデータ付与
- 既存教材の管理方法の検討

# RDM講座普及の素案

- 所属部署で公開している研究情報ページに掲載
- 研究データに関する問い合わせがあったときに、併せて紹介する
- 学内のRDM関係WG内の共通認識をもつためという名目のもと、トップダウンでの受講を促す
- 学認LMS上で受講するよりも、LTI連携で自機関のシステムで受講できるようにした方が、受講への抵抗感がなくなるのではないか
- 情報リテラシー教育活動の一環

# 教材に対応するメタデータ付与

- 教材のフィードバック作業の一環として、「[研究データ管理支援人材に求められる標準スキル](#)」と既存の教材の対応関係を整理した。

(一例) 業務区分別の対応表

教材	【機関 （資金の） 獲得後 制構築 契約締 結支援	【機関 の】研 究デー タ管理 のポリ シー 作成・更 計	【機関 の】研 究デー タ管理 戦略の 策定	アドボ カシー	データ マネジ メント プラン （申請 書類） の作成 支援	データ マネジ メント プラン の更新 支援	加工・ 分析中 の研究 データ 管理支 援	外部資 金（研 究助成 機関） の情報 収集	教育・ 研修	研究 データ の安 全・確 実な保 存の支 援	研究 データ の引用 支援	研究 データ の検 索・発 見・収 集支援	研究 データ の公開 方針の 決定支 援	研究 データ を含む 論文の 出版支 援	研究 データ 管理に 係る情 報発信	研究 データ 管理基 盤の運 営・管 理	研究 データ 分析支 援	総計			
研究データ管理サービス～	0	1	1	1	0	4	3	0	0	1	10	2	0	2	1	5	3	1	0	2	37
研究者のための～	1	0	1	0	0	0	2	1	3	0	2	5	1	2	3	5	3	0	0	4	33
なし	1			2		1				1	1							3			9

付録2 [RDM標準スキルと既存教材の対応表.xlsx](#)

# 既存教材の管理方法の検討

- JPCOARのWebサイト(WEKO3)の仕様上、ファイル別のバージョン管理ができない
- 今後はファイル別のバージョン管理が可能であるGitHubを用いて公開・バージョン管理

# 今回紹介した内容の詳細

2021年度教材作成プロジェクト中間報告書			
<input type="checkbox"/>	名前 / ファイル	ライセンス	アクション
<input type="checkbox"/>	 2021年度教材作成プロジェクト中間報告書.pdf (393 KB)		<input type="button" value="Download"/> <input type="button" value="Information"/>
<input type="checkbox"/>	 付録1_学認RDM搭載教材へのフィードバック および検討結果.xlsx (28 KB)		<input type="button" value="Download"/> <input type="button" value="Information"/>
<input type="checkbox"/>	 付録2_RDM標準スキルと既存教材の対応表.xlsx (76 KB)		<input type="button" value="Download"/> <input type="button" value="Information"/>

<https://doi.org/10.34477/0002000161>